

令和元年9月27日

貧酸素水塊速報 (2019年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター ○内湾底びき網研究会連合会

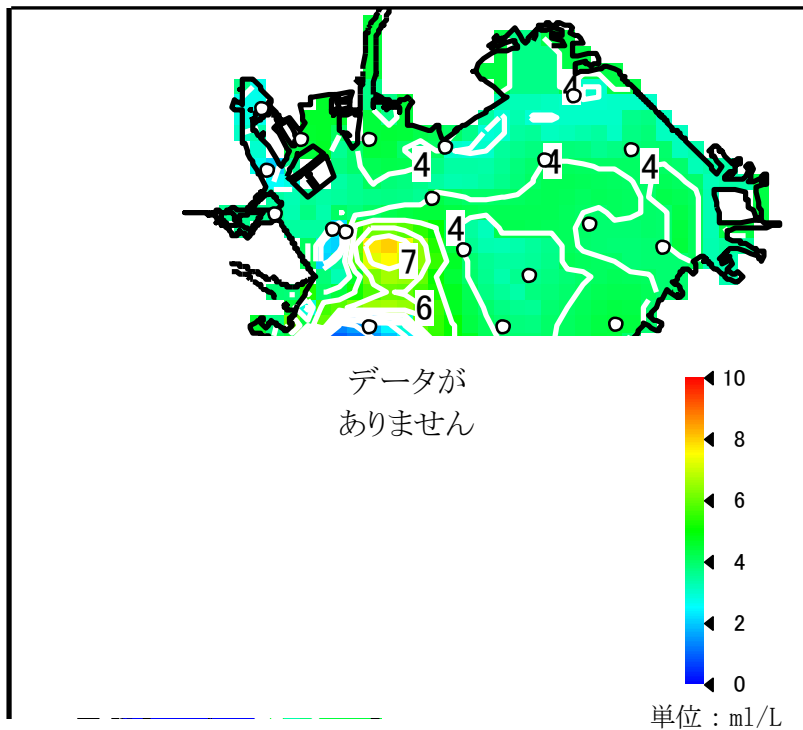
【協力】 千葉県環境研究センター ○東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (国)国立環境研究所
 ○モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和元年9月24日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。内湾北部のみの調査結果です。

貧酸素水塊は羽田沖の一部で認められましたが、その他の内湾北部海域では認められませんでした。

9月9日の台風15号通過以降、鉛直混合が進み、表層と底層の水温差は2℃以内と小さくなっています。



底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30~40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	